

# 平成27年度 「市長と語る市政懇談会」記録



## 平 坂 地 区

平成27年8月11日（火） 午後6時30分から

西尾勤労会館（体育館ホール）

市政懇談会次第

- 1 開会
- 2 平成27年度施政方針の説明（市長）
- 3 施政方針に係る質疑応答（事前意見・質問等の回答）
- 4 自由意見交換
- 5 閉会

## 参加者等

懇談会の地区代表者	中畑小校区：山崎代表町内会長
校区代表町内会長	平坂小校区：鶴生川会長 矢田小校区：稲垣会長
地区関係市議会議員	稲垣正明議長、神谷庄二議員、中村眞一議員、 大河内博之議員、松崎隆治議員
市関係者	榊原市長、小島副市長、増山副市長、浅岡教育長、 鴨下企画部長、渡辺総務部長、鈴木危機管理局長、 神谷健康福祉部長、青山子ども部次長、 星野地域振興部次長、金原産業部長、山崎環境部次長、 松崎建設部次長、鈴木上下水道部長、 尾崎市民病院事務部次長、岩瀬教育部長、大岡消防署長 事務局：新實秘書課長、岩瀬主任主査ほか3名
参加者数	市民57人、地区関係市議会議員5人、市関係者22人、 報道関係者2人
事前意見・質問等	整理区分5件 内訳：質問4、提案1、要望1
自由意見等	整理区分7件 内訳：意見6、質問3、要望1

## 市長と語る市政懇談会

平成27年8月11日（火）

○秘書課長 皆さま、こんばんは。私は、この懇談会の事務局を務めさせていただきます秘書課長の新實でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、本日は、出席者がクールビズの推奨ということでノーネクタイの軽装でありますこと、また、特産品やイベントのPRのポロシャツを着用しておりますことをご了承いただきたいと思います。

それでは、お時間になりましたので、ただいまから、市長と語る市政懇談会、平坂地区を開会いたします。

初めに、本日の出席者をご紹介いたします。

本日の懇談会の開催に当たり多大なるご協力を賜りました平坂地区の代表町内会長様であります中畑小校区の山崎会長、平坂小校区の鶴生川会長、矢田小校区の稲垣会長でございます。お願ひいたします。

また、市議会からは、稲垣正明議長、神谷庄二議員、中村眞一議員、大河内博之議員、松崎隆治議員にご出席をいただいております。

そして、市からは、市長を始め、小島副市長、増山副市長、浅岡教育長、そして関係部局の部長、部次長が出席しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、本日の懇談会の開催に当たり、衆議院議員、重徳和彦様並びに中根康浩様からお祝い状を頂戴しておりますので、ご報告を申し上げます。

続きまして、本日の予定をご案内いたします。この後、15分ほどのお時間で、市長から平成27年度の施政方針についてお話を申し上げます。その後、平坂地区から市へ事前にお伝えいただきましたご意見やご質問などに対して、市から回答をさせていただきます。また、自由意見交換の時間も設けておりますので、皆さまには、まちづくりに対するご提案やご意見、そのほか地域の困り事や関心事などがございましたら、ご発言をいただきたいと思います。

なお、記録用として懇談会の様子を写真撮影させていただきますことをご了承ください。

それでは、市長、よろしくお願ひいたします。

○市長 皆さん、こんばんは。お元気でなによりです。市長の榊原康正でございます。今日は、ご多用の中を多数の皆さまにお集まりいただきまして、ありがとうございます。また、日ごろは、市政各般にわたり、ご理解、ご協力をいただきまして、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

合併をいたしまして5年目を迎えております。今年度の市政運営の柱は「融和」と「協働」、そして「飛躍」ということで、今、進めております。融和といいますのは、市民の方がお互いに「やあやあ」とお顔を合わせて気軽にものが言えるような、そういうまちにしたいなということでありまして、まず、まちの皆さん方が打ち解けて、何でも話ができるような、そういった

まちにしたいなと思っております。

そして、協働ということでございます。協力をして働く協働でございますが、行政でできることには限りがございます。とにかくこのまちを良くしていくためには、市民の皆さまのお力が非常に大切でございます。そういった意味で、できることにご協力をいただいて、そして、このまちを良くしていくということ、今、進めております。

具体的な例を申し上げますと、今、学校の校庭、あるいは幼稚園、保育園の園庭に芝生を植えようということを進めております。今年度は、この平坂中校区ですと、中畑保育園で、皆さん方のご協力により、植えていただいております。このねらいといたしましては、とにかく子供たちに元気になってもらいたいということが1つあります。それと、地域の皆さんのお力を借りて、いろんなことを進めていくには、幼稚園あるいは保育園、学校へ来ていただく機会を増やし、地域の方に互いの絆を深めていただきたいと、そういうねらいがあります。芝生は市で植えますが、後の維持管理は地域の皆さんにお願いしたいということで進めております。

芝生を植えますと、本当に子供たちが元気になります。ちょうど今時分ですと、水をスプリンクラーでまきますので、そういったときに、子供たちが水の中で遊んだり、そして、いろんな動物、小鳥やら蝶々やらトンボやらを追っかけたりしています。子供たちが元気に走り回っている姿を見てみますと、これは早く全部の地区でやっていかなければいけないなと思っております。今、子供たちが体験したことは、大人になってから必ず大きな効果になって表れてくると私は思います。とにかく今の子供たちは、裸足で思いっきり外で遊ぶという機会がほとんどありません。ですから、小さいころに、そういう訓練、体験をいたしますと、大人になってからでも非常に役に立つと私は思っております。

今、いろんな日本のスポーツを見ておまして、一番残念なのが相撲で、日本人の横綱が一人もおりません。これは非常に恥ずかしいようなことで、何としてでも、将来、横綱をこの西尾市から出したいなと思っております。全てのスポーツがそうなんです。野球にしましても、特にサッカーを見てみますと、飛び込んでいく場面が多いですが、そういうときに、子供のころからそういう訓練をしてないと、なかなか大人になってもそういう姿勢がとっさに出てこないということでありまして、私はこういった体験が、将来、必ず役に立つと信じて進めております。どうか皆さん方にも、園庭、校庭に来ていただいて、いろんな子供たちと触れ合っていたいただきたいなと思います。

相撲の名古屋場所がありました。西尾出身の力士が一人、活躍をしてくれています。横須賀出身で、魁盛王という名前です。彼は、今、幕下であります。名古屋場所では5勝2敗で勝ち越しておりますので、間もなく十両へ上がってきます。部屋は浅香山部屋、魁皇が親方をやっている部屋でありますので、ぜひ皆さんで応援をしていただきたいなと思います。

そういった意味で、今、我々でやっていることが必ず実になって大きな成

果となることが、私は大切な将来展望を見越したことだと思います。

しかし、そんなことも大事なんですが、今すぐやらなければいけないこともたくさんあります。今、市政運営の中で最重点の事業が、防災・減災対策であります。南海トラフ巨大地震、この巨大地震が発生しますと、この愛知県下で西尾市が一番甚大な被害を受けるという予測が昨年、愛知県から公表されております。地震の発生は絶対にとめることはできません。ですから、大事なことは、我々がこの地震に対して、いかに一人の犠牲者も出さないかという準備であります。

合併をいたしまして、長い海岸線もできました。それと、地震のために川の堤防が陥没する予測もされております。自主防災を皆さま方をお願いをして、毎年、訓練を重ねておりますが、とにかく日ごろの訓練が、いざとなったときに最も役に立ちます。町内会の皆さん方が、いざというときには、どういふふうにしてお互いに協力をし合って、安全なところへ避難するかどうかということが大切なこととございます。

また今、学校の体育館などの耐震化を進めております。今年は、平坂小学校の体育館をしっかりとした安全な場所にしたいと進めております。いざというときの避難所にもなりますので、今、最重点で進めております。

それと、合併をいたしまして、いろんな施設の維持管理を全部していこうということ、なかなか大変でありまして、公共施設の再配置ということを進めています。施設は一気に老朽化が進んでいきます。取り壊したものを全て作り直すことはとても不可能なことであります。また、将来は人口が必ず減少してまいります。この西尾市におきましては、2040年には2万人以上が減少するという予測がされております。そういった場合に、いろんなものを持ち切れないということで、いろんな施設を取り壊しまして、それを一つの施設に集め、いろんな利用をしていただくということで、今、そういった再配置の計画を立てております。

これは、合併をするときに、将来、こういうものが維持管理できなくなるからということで、合併した当時から、この計画を進めておりました。私は当時、とにかく新しいまちづくりをしていくんだという発想で進めてほしいという指示を出しました。この4年間、職員が、どんな方法が一番良いかということで、いろんな方法を考えて、西尾市はPFIという方式を進めるということで、今、進めているところであります。これは、行政だけではいろんなことがとても今から賄い切れないということで、民間の資金、あるいは知識だとか経験を活用して、進めていこうということとあります。これは、しっかりとした市の説明がまだまだ不足している面もございます。本当に、わかりやすくご説明をしていかなければいけないと思っております。今日の日本経済新聞にちょうどその問題が書いてありまして、西尾市の一色支所の写真が載っております。これは全国的な問題で、いろんな公共施設を統一してコンパクトにしていかないと、とても財政がもたない。また、人口が減るわけですから、そういった場合に備えて早く手を打っていかなければいけ

ないということで、これを具体的に進めてまいります。どうか、皆さま方の  
いろいろなお知恵をお貸しいただきたいと思ひます。

それと、今、夢のある事業といたしまして、農業副都心構想というものを  
進めております。これは合併をいたしまして、西尾市が、農業、漁業、畜産  
業が非常に盛んな地域になりましたので、これを一つにまとめて、いろん  
なものを提供し、そして加工品を販売したり、あるいは多くの皆さんに楽し  
みに来ていただける場所をつくっていかうということで、憩の農園の周辺でこ  
の構想を実現していかうと、今、いろんないデアを出し合いながら進めて  
おります。一番肝心なことは、事業主体をどこにしようかということであり  
ます。これは、間もなく新聞発表にもなりますが、今、そういった下準備を  
進めております。西尾の物産はあそこへ行けば何でも手にすることができる、  
植木だとか、バラだとか、カーネーションだとか、そういったものもござい  
ますし、この西尾というところは非常にバラエティーに富んだところであり  
まして、住んでいる方は、それが当たり前になっておるんですが、よそから  
見ますと、これだけ日本一のものがたくさんあるところは少ないですよ。ね。  
抹茶、これはまさに日本一でありますし、一色のウナギ、あるいは一色のカ  
ーネーション、そして、三河湾でとれますアサリなんかも、まさにトップク  
ラスの生産高で、また品質もそうであります。そういったものをもっともっ  
と全国に発信をしていって、この西尾という存在を認めていただこうとい  
うことで進めてまいります。

抹茶の話をしていただきますと、今、イタリアのミラノでミラノ万博を  
やっております。これは食に関する万博でありまして、将来の食料事情、あ  
るいは各国の食料政策がどうなっていて、どう進めているかといったテー  
マの万博であります。実は先週、私もミラノ万博へ行ってまいりました。目的  
は、西尾のお抹茶を知っていただこうということで、大茶会を万博の会場  
で行いました。イタリアの皆さんは、抹茶に対して興味が非常に深くて、飲  
まれた方から、これはどこへ行けば買えるとか、どういう手順でどうすれば手  
に入るかという問い合わせも随分あったということでもあります。ですから、  
「西尾ここにあり」という情報発信を、世界に向けてもこれから進めていく  
時代かなと思っております。

イタリア人は、3分の1がメタボ、太り過ぎの人が見えますので、今、日  
本食が非常にブームになっております。とにかく日本の文化は海外でも非常  
にあこがれの的と申しますか、そういった部分がありまして、私も現地へま  
いりまして、よくわかりました。日本人は非常に信頼感がある、信頼されて  
いると。

万博会場には150ほどのいろんない施設があるんですが、日本館が一番人気  
がありまして、大体1時間半ぐらいの待ち時間で、皆さん入ってみえました。  
それぐらい人気がありますので、日本への関心度は非常に高いということが  
よくわかりました。ぜひ皆さん方も、メイド・イン・ジャパンのものは素晴  
らしいぞということ、あちらこちらで宣伝していただけたらなと思ひます。

その他、今年度、進める主な事業は、お配りした資料に載せてあります。いろいろな事業を行っておりますので、こういうことをもっと聞きたいということがございましたら、市役所へご連絡いただければと思います。今、市民協働ガイドということで、皆さんの地元で10人ほどお集まりいただければ、市の職員がどんなことでもご説明に伺います。また、皆さま方のご要望だとかをお聞かせいただいて、できるだけ早く対応してまいりたいと思っておりますので、ぜひ、ご連絡をいただけたらなと思います。

市では、情報発信を結構しているんですが、なかなか市民の方には伝わっていないことが多いものですから、そういう機会をお与えいただければ、喜んでお伺いしますので、お声を掛けていただきたいと思います。

この後、皆さまから貴重なご意見を直接お聴かせいただきますので、どうか、今日はせつかくの機会でありますので、日ごろ感じてみえることを、どんどんご発言いただけたらなと思います。どうかよろしくお願い申し上げます。

○**秘書課長** それでは、次に平坂地区から事前に市へご提出いただきました事前意見等について、市からご回答をさせていただきます。

ここからは、今回の懇談会で平坂地区の代表者としてお力添えをいただいております中畑小校区の山崎会長に進行をお願いいたします。本来ならば、司会進行は市主催ということで市の職員が務めるところであるかと思いますが、行政と地域とが和やかな雰囲気でき懇談できる環境で活発なご意見をお出しいただくために、地区のことをよくご存知の町内会長様にお願いを申し上げているところでございます。

それでは、山崎会長、よろしくをお願いいたします。

○**司会** 皆さま、こんばんは。中畑小校区の代表町内会長の山崎でございます。皆さまにおかれましては、日ごろから平坂地区の町内活動を始め、各分野でまちづくりにご尽力を賜り、また、本日は懇談会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本日は、市長を始め市役所幹部の皆さんに直接声を届けることができる良い機会であります。限られた時間ではありますが、平坂地区、さらには西尾市を住みよいまちにしていくため、有意義な意見交換ができればと思います。どうかよろしくをお願いいたします。

それでは、ご指名をいただきましたので、これから私が司会進行を務めさせていただきます。多くの意見交換により有意義な懇談会となりますよう、皆さま、進行にご協力をお願いいたします。

これより、平坂地区から市へ事前にお伝えした意見や質問などに対して、市から回答をいただきます。なお、市からの回答に対しまして、再度のご意見やご質問は、全ての回答があった後にお聞きしますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、1件目を中畑小校区の中村副代表にお願いします。

○中畑小校区副代表 失礼いたします。中畑小学校区副代表の中村でございます。よろしくお願いいたします。

案件は3件あります。1件目は中畑地区のふれあいセンターの進捗状況についてでございます。平成25年度の市長と語る市政懇談会で、コミュニティ活動の拠点整備として要望いたしました「中畑地区のふれあいセンター」について、現時点での検討の状況、進捗状況を報告してください。

○教育長 失礼します。教育長の浅岡文雄でございます。よろしくお願いいたします。1件目の中畑地区のふれあいセンターの進捗状況についてのご質問でございますが、中畑ふれあいセンター、これはまだ仮称でございますが、このふれあいセンターの建設の事業化に向けまして、立地条件、施設規模、施設機能、整備及び運営形態、これらを調査するための基本構想調査を行う手続を進めてまいります。

なお、中畑ふれあいセンターの基本構想に当たりましては、多くの方々に利用していただくための工夫と現有の他の施設との機能バランスを考える必要がございますので、今後、十分に検討してまいります。よろしくお願いいたします。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

続きまして2件目です。同じく中畑小校区、中村副代表、よろしくお願いいたします。

○中畑小校区副代表 2件目です。中畑地区道路交通網の整備の進捗状況についてです。

平成25年度の市長と語る市政懇談会で要望いたしました「中畑工業団地を基点とした道路網整備の推進」と「市道中畑92号線の交差点改良」について、現時点での進捗状況を報告してください。

以上です。

○市長 2件目の中畑地区の道路交通網の整備の進捗状況についてのご質問でございますが、中畑工業団地を縦断する市道中畑102号線と県道岡崎碧南線を結ぶ市道平坂93号線につきましては、平成27年6月現在の用地取得率は約90%ですが、用地交渉に時間を要していることや国の補助金が非常に厳しいことから、平成29年度末になる見込みでございます。

また、中畑橋東交差点につきましては、北側の県道に右折車線を設置する予定で用地取得を進めているところでございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

市道中畑92号線と県道蒲郡碧南線の交差点改良につきましては、平成25年度の市政懇談会で計画はないとご回答させていただきましたが、再度、県に確認しましたところ、交通量も渋滞するほどでなく、計画はありませんとのことでしたので、交通安全には十分に気をつけて運行していただくよう、お願いを申し上げます。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

続いて、3件目も、同じく中畑小校区中村副代表、お願いいたします。

○中畑小校区副代表 3件目は、集中豪雨等による水害被害とその対策についてです。

平成25年度の市長と語る市政懇談会で要望いたしました「堀割川の右岸堤防のかさ上げや土のうの配備による耐浸水化対策の可能性」について、現時点での状況を報告してください。

○市長 3件目のゲリラ豪雨等による水害被害とその対策についてのご質問のうち、堀割川の右岸堤防のかさ上げに関しましては、平成25年度にご回答させていただいたとおり、ゲリラ豪雨時に、より河川の水位が上昇している状況では、堤防のかさ上げを行っても、道路や宅地に降った雨水が川へ排出できなくなり、同様に浸水が起きるため、余り効果が期待できず、抜本的な対策とはならないと考えております。

そのため、西尾市では、平成26年4月から、大雨による住宅の浸水被害を防止するため、住宅の浸水対策工事を実施する方に対して、改修費の補助を行っております。ぜひご活用いただけますよう、お願いいたします。

次に、土のうの配備による耐浸水化対策であります。土のうの配備につきましては、平成25年度から、市内各所の備蓄数量を増加させております。現在、平坂地区においては合計1,380個を備蓄しております。内訳としましては、勤労会館に1,200個、平坂防災倉庫に180個となっております。これは平成25年度の600個に比べ、2倍以上の備蓄量となっております。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

続きまして、4件目を、矢田小校区コミュニティ推進協議会会長の杉浦様、お願いいたします。

○矢田小校区コミュニティ推進協議会会長 矢田小校区コミュニティ推進協議会の会長の杉浦でございます。

日ごろ、大変お世話になっておりまして、ありがとうございます。

私どもの協議会は平成23年度に設立されましたので、まだ未熟な組織でござ

ございます。主な行事といたしましては、環境美化活動、ごみ拾い、盆踊り大会、ウォークラリー等を実施して、校区の代表町内会のお手伝いをしている状況でございます。

また、今年度は、これらの行事に加えて、一般コミュニティ助成金をいただきまして、今、羽塚町の大太鼓の修繕を実施しております。この大太鼓は1本のケヤキから3個つくったと言われ、兄弟太鼓だと言われております。八ツ面町と羽塚町と上矢田町がそれぞれ保管しております。現在、修復中でございます。その太鼓の中に記録が書いてあるわけですが、その記録によりますと、85円で作られたものであります。明治維新から13年たったころなんですけども、西尾市の図書館で調べてみますと、米津橋の木橋が、第1回目の木橋なんですけども、1,262円で作られているそうです。ですから、当時の85円というのは相当な金額であっただろうなと思われまます。復元修繕できた暁には、末永く使用して、矢田町校区コミュニティ活動の充実強化を図っていきたくと思っておりますので、よろしく願いいたします。

前置きが長くなりましたけども、校区コミュニティ推進協議会の補助金についてご質問させていただきます。校区コミュニティ推進協議会の一応のバイブルであります「西尾市の校区コミュニティ推進方針」の中で、先ほど市長さんも言われましたけども、自助・共助・公助の視点から、住民・地域・市がそれぞれ役割を考え、お互いがパートナーとして、連携協力しながら、協働による住み良いまちづくりを進めていく必要があると記されております。

市は、地域がやること、市と地域が協働でやること、市がやることの区分けができているのかなということをお聞きしたい。そのことを明確にしていけないと「市役所がやってくれるからそのままいいよ」という形になってしまうのではないかとということです。あと「何でもよいから自由にやってください」ではなく、市がやっぱり政策的な主導権を持って実施すべきと考えております。

特に協働でやる場合は、あくまで協働ですので、市の負担は出ると思いますが、そういった負担額を明示して、地域がその条件で実施できるかどうか判断できるよう指導していただきたいと思っております。協働でございますので、補助メニュー等を決めて、地域が事業を選択できるような形でお願いしたいと思っております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○市長 4件目の校区コミュニティ推進協議会活動補助金についてのご意見とご要望でございますが、校区コミュニティの皆さまにおかれましては、日ごろより、それぞれの地域において、コミュニティ施策の推進に多大なるご尽力をいただき、誠にありがとうございます。

私は西尾市・幡豆郡三町の合併以来、「融和」と「協働」そして「飛躍」をスローガンに市政運営を進めてまいりました。その中で、本市では、校区コミュニティ推進協議会が全ての小学校区に設置され、地域の実情に合わせ

た特色ある地域コミュニティ活動を推進していただいております。時代の変化とともに地域の課題は多様化し、行政だけの力で安心・安全な住み良い地域社会を実現することは難しく、校区コミュニティの皆さまの連携協力は必要不可欠のものであります。

昨年度、市民と行政との協働によるまちづくりをさらに推進するため、西尾市まちづくり市民会議を8回にわたり開催しました。会議では、活発な意見交換が行われ、協働の理念と基本原則を確認し、協働のあり方について考察をいたしました。その結果、市民に対して協働の基本原則、ルールを提示し、市民と行政の双方から協働事業が提案できるような仕組みを構築する必要性が報告されました。この報告を受け、全職員が協働の意識を持ち、施策に取り組むよう、市役所全体で情報共有を図っております。市民と行政の協働によるまちづくりに対しまして、引き続き、皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

なお、コミュニティ推進協議会の補助金につきましては、担当の部次長から説明をさせていただきますので、お願いいたします。

○**地域振興部次長** 地域振興部次長の星野でございます。よろしくお願いたします。

それでは、校区コミュニティ推進協議会活動費補助金についてご説明を申し上げます。

この補助金につきましては、協議会の会議、研修会、地域づくりのために行う各種事業など、基礎的な協議会活動に要する費用に対する基準額20万円と、校区内の各種団体と連携した地域行事や安心・安全な地域づくりのための子供や高齢者の見守り活動など、地域の独自性を発揮し、展開する事業に対する補助であります加算額1事業5万円で3事業までを合算した補助金となっております。

基準額につきましては、各校区コミュニティにおいて基礎的な活動に要する経費としてお使いいただくものでございます。加算額につきましては、「西尾市の校区コミュニティの推進方針」にて補助対象となる活動事例を一部示させていただいておりますが、それぞれの校区が抱える課題の解決や地域づくりに市民の皆さま方が直接参画できる事業、また、市として、地域の皆さまに取り組んでいただきたい事業の追加についても、今後、校区コミュニティ連絡協議会の中でご協議いただきまして、コミュニティ活動が持続発展できる補助金としてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○**司会** ありがとうございます。

それでは、5件目ですが、国森3区町内会長の菅原様、お願いいたします。

○**国森町第3区町内会長** 国森3区町内会長の菅原です。よろしくお願いしま

す。

質問、提案ですけど、社会健康保険から国民健康保険への切り替えについてです。

社会健康保険から国民健康保険への切り替えは、資格喪失後でないといけないのですが、これを1日か2日前にできるようにはなりませんか。それにはシステムを変更しなければだめということですが、岡崎市ではできるとのことです。西尾市でもできるようにシステムを変更していただきたいと思います。

事例ですが、定年を迎え、社会健康保険組合から資格喪失の1か月前になる3月11日付で手続の案内がありました。手続のため市役所に出向いたところ「4月11日以降に来てください」との説明がありました。病院にかかっており、4月13日に予約していたことから、4月7日に再度、市役所に出向きましたが、受け付けてもらえませんでした。岡崎市の例を身内から聞き、また4月9日に市役所に出向きましたが、同様の理由で受け付けてもらえませんでした。岡崎市の例に対しては「システム変更はできません、悪用されるおそれがあります」との回答でした。仕方がないので、手続の用紙をもらい、記入して、手続が可能となる曜日以降で最初の開庁日となる4月13日、月曜日に提出すると話したら「月曜日は混雑するので違う日がいいですよ」と言われました。それでも4月13日に病院に行く予定でしたので、8時45分ごろに市役所に出向いたら、1番で手続をしてもらえました。市役所は混雑しておりませんでした。国民健康保険は4月11日、土曜日から使用可能となっております。

以上のように、国民健康保険に切り替えるだけで4回も市役所に行かなければなりませんでした。これは担当者の説明不足だと感じました。もう少しわかるような説明、対応する教育をしていただきたいと思います。

例えば、1回目で記入用紙を渡して説明すれば、これは2回で済むことではないでしょうか。また、皆さんが理解しやすいように、説明書を作成して渡したらいいのではないかと思います。

以上です。

○市長 5件目の社会健康保険から国民健康保険への切り替えについてのご質問とご提案でございますが、この度は担当職員の説明不足によりまして、多大なご迷惑をお掛けいたしまして、誠に遺憾に思っております。

今回の事案につきましては、申請手続を含め、担当部長からご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○健康福祉部長 健康福祉部長の神谷でございます。よろしくお願いいたします。

まずもって担当職員の説明が不十分だったため、市役所へ4回もお越しいただきまして、誠に申しわけございませんでした。

健康保険から国民健康保険への切り替え手続きにつきましては、国民健康保険法及び同法施行規則の規定によりまして、健康保険の資格を喪失した日から14日以内に申請しなければならないと定められております。

申請手続きといたしまして、健康保険の資格を喪失した日以降14日以内に直接窓口にお越しただければ、新しい国民健康保険証を即日交付しております。

しかし、健康保険資格喪失後14日以内に窓口で手続きができないことがあらかじめわかっている場合は、資格喪失日前であっても、必要書類が整っていれば申請書をご記入いただき、一時お預かりをいたしまして、資格喪失日以降、新しい国民健康保険証を発行する対応を例外的にとっております。窓口で対応した担当職員が電算システムに関する説明をしてしまいましたが、電算システム変更とは関係ございませんので、おわび申し上げます。

また、従来から分かりやすい説明書の作成と配布を行っておりますが、この度はお渡しできず申しわけございませんでした。

今後、市民の皆さまへのより一層のサービス向上に努めてまいりますので、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

以上、5件、私ども平坂地区から事前に市へお伝えした全ての意見、質問等に対しまして、ただいま、市から回答がありました。

ここで回答に対するご意見、ご質問をお受けいたします。ご発言に当たっては挙手をお願いいたします。私が指名させていただきますので、町内会名とお名前をおっしゃってから発言してください。なお、限られた時間でありますので、要旨を簡潔にまとめご発言いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

それでは、発言のある方は挙手をお願いいたします。

○司会 先ほどの菅原さんですね。お願いいたします。

○国森町第3区町内会長 やっぱり説明不足が市役所の職員にあったと思います。すごく腹が立ったんです、そのときに。本当は市長と話をしようかなと思って行ったら、ちょっと忙しいということでおられませんでした。ただいま説明がありましたようなことは何も説明がありませんでした。市民を軽視しとるんじゃないかなど。猛反省してもらいたい。

町内会長で行くとすぐやってくれるんです。市役所は一市民にもちゃんとした対応をしてもらいたいと思います。

○健康福祉部長 お怒りはごもっともでございます。私たち職員の心得といたしまして、いつも笑顔でおはようございます、こんにちは、ありがとうございます

いました、この精神で市民の方と接してまいりますので、よろしくお願いいたしますします。

○司会 よろしいでしょうか。

他にご発言のある方は挙手をお願いいたします。ただいまの5件に関してです。

○市民 (中畑町第10区のカネさん) 堀割川の堤防道路の件です。雨が降ると川の水量が増えて、河口のほうにある水門で排出するわけですが、水門から排出するという条件でうまく動けば良いのですが、想定外ということがたくさんあります。想定外になったときには水が溢れる、道路のほうに漏れてくると。それで、先ほどの回答だと、土のうは平坂地区に1,300個あるが、中畑地区にはないです。中畑のほうは道路はかなり低いので、中畑に土のうがたくさん置かれていればと思います。平坂に置いてあって、増水したときに、中畑の人が平坂までとりに行くというのは絶対に困難ですので、あの辺で、そういう場所を市も管理していただいて、置けるようにしていただきたい。

とにかく、川が氾濫すると非常に被害が出ます。平常は川の水は少ないですけど、雨が降ると一気にそこら辺に集中します。その辺を何とか、道路をちょっと高くつくらんでもいいんですけど、そういうふうな方法を検討していただきたいなと思います。

○危機管理局長 危機管理局長の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

土のうの置き場所の件でございますね。場所はどちらかございますでしょうか。スペースだけの問題だと思いますので、地元の皆さんとご相談したいと思います。

○市民 そうですね。みんなが手軽に運んだりできるような公共のところに置いてもらえればと思います。その辺を検討していただければと思います。

○危機管理局長 了解いたしました。

○司会 よろしいでしょうか。

町内会名とお名前をおっしゃってからご発言をしてください。

そのほか、ご発言のある方はみえませんか。よろしいですか。ありませんでしょうか。(挙手なし)

それでは、次に移らせていただきます。

ここからは自由意見交換ということで進めてまいります。皆さまには、まちづくりに対する提案や意見、その他、困り事や関心事などがございましたらご発言をしていただきたいと思います。先ほどと同じように、ご発言のある方は挙手をお願いいたします。私が指名させていただきますので、町内会

名とお名前をおっしゃってから発言をお願いいたします。

どなたか、ございますでしょうか。

○市民 中畑町1区の人です。本来なら中畑町内会で事前に意見を聴けば良かったんですけど、たまたま私の手違いで、私個人の意見という形になっちゃうと思いますが、私も過去にやっておって、こういう場で発言したことを市で取り上げていただいて、成功した例もありますので。

これが古い話で、実は平成16年3月31日に三河線が廃線になったんです。そのかわりに、ふれんどバスが代替バスということで運行されているんですけど、当時、県道の幅が狭くて中畑駅にはバスが入れないということでありました。碧南市と西尾市とバス会社の三者で、毎年、協議をして、いろいろな問題点について改善を図っていることは聞いています。

当時、そういうことで、結局、三者協議の中で、棚尾橋から平坂のほうへという形となりました。中畑橋東からオティックスの本社のところ、中畑駅のところまでは幅が広がったんですが、そこから先、また平坂までが狭いということで、これからどういう協議がされるかわかりませんが、今日までの経過と、あと、もう既に11年たってるもんですから、中畑町民としては、何とか対談でも考えてもらえたらと思います。

これはあくまで私の私案ですが、中畑橋東の交差点から左折して、今、道路がかなり整備されて、田貫まで、そこを右折して、そして、今、路線バスが走っている羽塚から平坂小学校港前と、時間的にはコース変更するとかかるかもしれませんが。今までこの時刻表を見ますと、大体40分から50分ぐらいで行っどんです。碧南市もくるくるバス、コミュニティバスがあって。要は、そこから橋を渡らなならんし、棚尾橋から右折してもらって、伏見町ですか、そこを右折して中畑橋を渡って。今言ったように私の個人的な意見なんですけど、そういう形で、中畑の中を走って、田貫、そして羽塚と、そんなコースを、できれば、今度の三者協議の中でご検討いただいたらどうかなど。

いずれにしても県道はなかなか拡幅できないもんですから、そういうことでもう11年も我慢してると。私も後期高齢者なので、いつ免許証を返納せないかん立場になるかもわかりませんし、実際、名古屋へ三河線を使って通勤してましたので。やっぱり中畑の人は、碧南市とか刈谷市とのつながりが強いもんですから、ぜひとも、そこら辺の経過で今後、ご検討をいただきたい。

もう一つ、西尾だけでは何ともなりませんけど、西尾市、碧南市、安城市、それぞれコミュニティバスを運行してるもんですから、そういう中で隣の市との接点、何とかジョイントがうまくできるようなことも、これからご検討いただきたいし、正直言って、旧西尾市は、一応、六万石くるりんバスがあるんですけど、一色とか幡豆とか吉良にはないわけです。総合的な検討の中では、当然、そういう問題も含まれてるとは思います。ぜひとも今後のご検討の中で取り上げて、市民の期待に応えられるようお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○**地域振興部次長** 地域振興部次長の星野でございます。

材がチ様には、名鉄三河線廃線のとき、ふれんどバスがどういった経緯でこういったルートになったということも、よくよくご承知の上でのご質問だと思います。

市といたしましても、材がチ様のおっしゃるように、当初は、吉良吉田駅から中畑橋経由の碧南中央駅といった形で、ずっと要望しておったわけでございますけども、やはり碧南市側としては、碧南中央駅から碧南駅まで、やっぱり南のほうの、碧南市としてもそちらの事情があるということで、当時、両者の協議の中で決まったということでもあります。そのときの条件が、ご承知かと思えますけれども、あくまでも名鉄三河線廃止に伴う代替バス、代替路線ですということで、基本的には名鉄三河線のルートに合わせますよというのが1点です。

2点目が、通学通勤者の方を主たる利用者として位置づけておるということで、やはり名鉄電車との乗り継ぎの関係も考慮して、時間も短くしたいと、そういった2点の条件があったかと思えます。

おっしゃるように、我々としましても、11年間、捨てとったわけじゃなくて、そういった形で碧南市とは協議を進めてきておるんですけども、実際、今おっしゃられたように、平坂橋の信号から北側、まだまだ道路が狭くてバスが通れない状況があるということで、今後、そちらが拡幅されてバスの運行が可能になったときには、また碧南市とともに協議をしてまいりたいと考えております。

○**司会** よろしいでしょうか。

そのほか、発言のある方は。

先に向こうの方、町内会名とお名前をおっしゃってから発言してください。

○**市民** 平坂3区町内会長の伊ヅカと申します。突然の質問でご容赦願います。

内容は、放課後児童クラブの件ですが、本日の資料の中、右の一番上に、児童クラブの受け入れを小学校6年生までに順次拡大とありますが、現在、5年生まで受け入れられていると。平坂小校区も新しい家がどんどん建ってきてまして、一部の地域ですが住民がかなり増えております。したがって、児童の数も、今後、増えるということが想定されております。平坂は既に狭いという声も聞いておりますので、施設整備の進捗状況と、今後の計画についてお聞かせ願えればありがたいなと思えます。よろしく願います。

○**子ども部次長** 子ども部次長の青山でございます。よろしくお願いたします。

日ごろは児童クラブの運営に関しまして、ご理解、ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。ただいまご質問をいただきました平坂児童クラブの件でご

ございますが、町内会長さんご指摘のとおり、今、大変多くの児童の皆さんに利用をさせていただいております。現在の状況としましては、年間で利用する児童が41人。また、夏休みだけ利用する児童が16人、合計57人の児童に利用させていただいているところでございます。

また、児童クラブのクラブ室は、学校の和室を借りて、2か所で保育を実施しております。町内会長さんご指摘のとおり、現在の利用者に対してクラブ室が狭いといったことは承知しております。市の方針としては、小学校の空き教室、余裕教室、そういったものがあればそれらを活用していくわけでございますが、活用ができない場合は、新たなクラブ室の設置等も検討してまいりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○司会 伊ヅカさん、よろしいでしょうか。

そのほか。

こちらの方はカネさんですね、中畑8区。

○市民 中畑8区のカネです。

ちょっと話が違ふかもしれませぬけど、今までは皆さん、目に見える話をしてみえませぬ。もうちょっと目に見えない話をお聞きしたいと思ひます。

以前、日本年金機構で情報が漏れませぬよ、すごく膨大な。それで、今、一番お金になるのは情報だと思ひていませぬ。それで西尾市民の情報を一番持っているのは市役所だ。それで、市役所が情報管理をいかにどのようにやってみえるか。年金機構はやっちゃいけないことをやませぬ。要するに、マニュアルにないこと、やっちはいけないことをやっちなして漏れちやっちな。だから、市役所では、その情報管理を徹底していただきたいし、その管理をどういふふうにやってみえるかといふのを、わかりやすく説明していただきたい。お願ひします。

○企画部長 企画部長の鴨下でございませぬ。よろしくお願ひします。

西尾市では、情報システム課といふ課を持っておりませぬ、そこで、電子データとかいふろんな情報管理をやっちな。職員それぞれがパソコンを使って仕事をやっちな。それはインターネットにつながっておりませぬので、そのネット上につながっているものについては、個人情報を含めたものは置かないといふ原則でやっちな。

仮に、どうしても置かなければならぬときには、パスワードを設定しておき、使い終わったら削除するといふことで、セキュリティポリシーを徹底しておやります。

年金機構の場合には、そうしたネット環境のあるパソコンに個人情報をつけたデータを置いていたといふことが、今回の流出の原因となっておりませぬので、西尾市ではそれを徹底して置かないように、また、もし仮に置くような場合は、パスワードを使って、処理した後はすぐに消すといふことを徹底し

てやっておりますので、よろしくお願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。

それでは、次の方、挙手を願います。

どうぞ。

○市民 矢田長寿会の会長をやっておりますかべと申します。よろしくお願ひします。

今日は、市長に、一番最初に芝生の話をしていただき、大変ありがとうございました。矢田小学校の芝生を市長に植えていただき、また、市会議員の先生、町内会の皆さんと一緒に、今年もやらさせていただきました。それが、この前、ここに校長が見えますけども、教室が足らんで仮設を建てよう、それを芝の上に建てるという話が出てきて、そんなことは、一生懸命かわいがつとる芝がかわいそうじゃないかというのが私の個人的な意見です。子どもたちも裸足になって、あそこで楽しんどるんです。保育園も、立派な芝を植えていただいて、園児も非常に楽しんどる。幾つ仮設をつくるか、教室をつくるか、まだそこまでは聞いとりませんのでわかりませんが、ただ、僕が見るには、そこへつくらなくてもまだ場所はあるじゃないかと、ほかの場所。一目見て一番良いのは、確かに体育館の隣で、職員室から一番近いところなので、良いかなとは思いますが、私ども、市長の意気込みで、立派な芝生を一生懸命考えとったところに、今日、コミュニティの会長がおられますけども、あそこで盆踊りをやるんですね。すごく気持ちが良いです、本当に。コンクリートの上じゃございません、土の上じゃないです。そんな意味でも、ぜひ仮設をつくる場所を、決定しておるような校長の話でしたけども、私はあえてその意見をひっくり返して、違うところへ仮設の校舎をつくっていただきたいなど、こんなことを要望して、ご意見をさせていただきます。ありがとうございました。

○司会 ただいまの意見ですが、市側から何かありますか。

岩瀬教育部長、お願いいたします。

○教育部長 教育部長の岩瀬でございます。いつもお世話になっております。

今、かべさんのおっしゃったとおり、矢田小学校も、大変うれしいことに児童数が増えております。いろんな教室で工夫をいたしましたけど、やはりどうしても教室が足りないということで、仮設といいますか、最近ではとても程度のいい仮設の教室があるんですけども、これを建てることにいたしました。ただ、場所につきましては、いろいろ考えたところ、結局、芝のところということにはなりました。8つの教室が必要でありますけど、平屋では芝を潰してしまう面積が大きくなってしまいますので、2階建てのプレハブの校舎を準備することにいたしました。その場所につきましても、皆さまがかわ

いがってくださった、あるいは子供が使ってるその芝にかかるところが極力少ないように、いろいろ工夫をいたしました。さらに、これは使う児童の便利さも考えなければなりませんし、学校の先生の都合、授業しやすいように考えなければなりません。今現在は、加ベさんがおっしゃってくださった、ご承知のとおり、体育館にできるだけ近くして、しかも2階建てにして、芝を少しだけ少なくしようということが、今、我々が思っておる結論でございます。

今後、緑の部分を残していくように、努力、いろいろ工夫をしていますが、どうかこの仮設校舎につきましてはご理解をいただきますようお願いいたします。

以上でございます。

○司会 よろしいでしょうか。

まだ時間もありますので、そのほか、発言のある方はお願いいたします。どうぞ。

○市民 国森3区のスカラです。

幹線道路網の整備ということで、新在家上矢田1号線の整備がここにも書かれておりますけど、今年も、あそこのハウスで交通事故がありました。あそこは交通事故が多発しております。26年から用地買収をしてることと思いますが、その進捗状況はどのぐらいか。また、一応5年以内に道路ができるということだったんですけど、どのぐらい進んだるかお聞きしたいと思います。

○建設部次長 こんばんは。建設部次長の松崎です。よろしく申し上げます。

今、お話にもありました新在家上矢田1号線は、確かに道が狭く、交通量、事故が多発している状況があり、心配をしておるわけですが、事業の進捗としましては、約3分の1ぐらいの用地が取得できました。この事業は補助金をもらって進めておりますので、補助金のつきぐあいによって進捗がどうなるかわかりませんが、目標としましては、平成34年度までに何とかしたいと思っております。

○市民 よろしく申し上げます。

○司会 よろしいでしょうか。

まだご意見のある方、ご発言のある方はありますでしょうか。ただいま6件のご意見やご質問等がありました。そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。（挙手なし）

それでは、出尽くしたようですので、この時間を利用して、市から情報提

供いただけるようなことがありますか。

○建設部次長 すみません。建設部の松崎です。

先ほど補助金のある事業と申し上げましたが、市の単独ということで、訂正させていただきますので、よろしく願いいたします。

○司会 それでは、市から情報提供いただけるようなことはありますか。

○企画部長 企画部長の鴨下でございます。

それではちょっとお時間いただきまして、PRをさせていただきます。

お手元に「西尾市ふるさと応援寄附金」というパンフレットをお配りしておりますので、ご覧いただきたいと思っております。

これは、いわゆる一般的にはふるさと納税と呼ばれているものでありまして、西尾市でも、6月1日から新たな形でのふるさと寄附金をスタートいたしました。この制度自体は平成20年度から始まっていたんですが、今まで西尾市は、ふるさと産品をお礼として送ることはしていなかったわけですが、全国的に人気が非常に高まってきているということで、西尾市の特産であります抹茶、うなぎ、えびせんべいをお送りすることにいたしました。

1万円以上のご寄附をいただいた場合に一品、2万円で二品、3万円以上であれば三品ということでお送りしておるわけですが、今、インターネットの時代ということで「ふるさとチョイス」というポータルサイトがございまして、そこに登録いたしまして、全国からふるさと応援寄附金を受け付けている状況でございます。

裏面を見ていただきますと、1番から10番までの事業がありまして「私はこれを応援したいな」という事業を選んでいただくことができます。6月から始めて2か月で775件の申し込みがございまして、金額としては996万円ほどございました。平成26年度は、年間で29件、577万円でございますので、2か月で倍近い寄附金をいただくことができました。この寄附金というのは、ふるさとということで市外の方からの寄附金を主眼としておるわけですが、西尾市に住む方にも、自分の税金を何に使ってほしいかという、自分の気持ちをこれで表すこともできると解釈をしていただきたいと思っております。

使い道としては、教育を充実してほしいというところが一番多く、その次は福祉、そういう順番になっています。また、特産品としましては、うなぎが一番人気でありまして、737件という状況であります。

以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

そのほか、市から情報提供ございますか。よろしいですか。

市のほうもないようですので、私、つたない司会ではありましたが、進行にご協力いただき、ありがとうございます。

それでは、事務局へ司会進行をお返しいたします。

○秘書課長 山崎会長、ありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、市長からお礼のご挨拶を申し上げます。

○市長 今日は、本当にさまざまなご意見、ご提言をいただきまして、ありがとうございました。

市の職員の対応の件もいただきましたが、いつでも、やはり接待、応対というのが一番大切なことでもあります。職員には私からも常に伝えておるわけですが、どうしても説明不足の部分があります。職員自身はよく知っていますので、相手の市民の方も当然知っておみえになるという判断で話をする場合が結構多いものですから、とにかく分かりやすい言葉で丁寧に応対をするようにということで申しておりますので、また、いろんなことがございましたら、どうぞ市役所へご連絡いただきたいと思います。

今、国では、地方創生ということで、地方のいろんな活力を出していこうということで進めております。各地域でいろんな特徴がありますが、この西尾市におきましても、すばらしい資源がたくさんあります。そういった部分で、ぜひ総力を挙げてご協力いただきたいと思います。地方を元気にする1つの方法として、地域で行われる祭りをとにかく盛んにしていこうと思います。

鳥羽の火祭り、2月に毎年行われますが、これが1300年ほど前から続いている行われる全国でも非常に珍しいお祭りでございます。今年、この祭りを取材してくれまして、エジプト探検で有名な早稲田大学の教授の吉村作治先生と話をしました。とにかく地方の祭りを盛んにすると、その地域は必ず元気になると、これが非常に大事な1つの方法ですよというお話でした。

夏にはいろんな祭りが行われます。今からですと、15日には米津の川まつりが行われます。これは、電車に乗り、米津の駅から3分のところが会場でございますので、ぜひこの米津の川まつりを、皆さんで大いに盛り上げていただきたいと思います。

それから、今からは一色の大提灯、これも400年以上前から続いている大きなお祭りでございますので、ぜひ盛り上げていただきたいと思います。

それと、8月末の6日間、吉良のワイキキビーチでハワイアンフェスティバルというのを毎晩行います。お時間のある方は、フラダンスを楽しみに是非お出掛けいただきたいと思います。私は、吉良のフラダンスを日本のハワイアンのメッカにしようということで、今、張り切って宣伝をさせていただいております。今年は1,000名程の踊る方が出ていただきますが、ひと月くらいできたらなど。そうすれば、全国からこの西尾市にやってきていただけますので。そういうすばらしい土地柄でありますので、皆さんで盛り上げていけば、どこにも負けない市ができます。

今年は、1つ大きな目玉事業があります。12月13日の日曜日であります、

文化会館の大ホールで吉良サミットというのを行います。

吉良上野介は日本で一番悪人ということで評判になっておりますが、実際は名君であったと。これはいろんな資料がありまして、とにかく日本の歴史上、最大の被害者は吉良上野介であるというくらい、忠臣蔵という芝居のおかげで悪い評判で有名になっております。ですが、私は、これは非常に不本意であるということで、もっともっと吉良公のすばらしさを日本中の人に知っていただくということで、第2回の吉良サミットを行います。

第1回は、昨年、山形県の米沢市で開催されました。この米沢というところは上杉謙信のゆかりの地でありまして、上杉家と吉良家とは三重の縁で結ばれておりまして、非常に忠臣蔵というのが誤って伝えられているのがおもしろくないということで、米沢市長が、昨年、第1回の吉良サミットを行いました。吉良上野介ゆかりの地域の首長に来ていただきまして、そして、吉良上野介のすばらしさ、そして、それを生かしたまちづくりをいろんなことで発表いたしました。

今年は12月13日、一番の目玉は第18代の徳川宗家に来ていただきます。幕府側から見た元禄赤穂事件はどういうふうにかというふうなお話と、もう一人、第17代の上杉邦憲公に来ていただきまして、この方にも上杉側から見た元禄赤穂事件はどう考えるかというふうなお話をさせていただきます。今まで、全国で、本物の殿様に来ていただくという企画をしたことはございません。

我々は、忠臣蔵じゃなくて元禄赤穂事件と呼んでおります。忠臣蔵はあくまでも芝居上のことでありまして、芝居では悪者は悪いほど劇としてはおもしろいのですから。

実は、赤穂市のすぐ隣に相生市というところがありますが、この相生市の市長と先日、話をする機会がありました。この相生市は大石内蔵助が出た市でありまして、その市長が言われるには、東大に浅野内匠頭のいろんな資料がたくさんあると。その中で、浅野内匠頭は非常にキレやすい性格であったという資料が残っていると。

もう一つは、浅野家が断絶になったときに、領民が喜んだという資料がある。ということは、年貢の取り立てが恐らく厳しかったのではないかという気がいたします。

そういった意味で、この全国で初めての催しをやりますので、ぜひ皆さんもご参加いただいて、少しでも吉良上野介は名君であったということを全国に知らせたいなと思っております。ただ、赤穂とは、今、仲よくやっております。私たちは赤穂の悪口を言っても仕方ありませんので、吉良をとにかく盛り上げていただきたいなと思います。

とにかく一番大切なことは、皆さま方が元気はつらつに毎日お過ごしいただくことが大事かと思っております。ここにこうして出席をしていただける方は、もう間違いなく元気な方ばかりですが、うちでテレビばかり見たり、閉じこもってる人だって結構おみえになりますので、できるだけ外へお誘いいた

だいて、とにかく歩く。私は歩くことが一番いいと思います。西尾の人は、隣へちょっとたばこを買いに行くのでも、自動車に乗って買いに行く人が結構見えますので。とにかく、歩くことは自分のためですので、ぜひ健康管理だけはしっかりと気をつけていただきたいと思います。

また、市長室へいつでも遊びに来ていただいて「おい、お茶を飲みに来たぜ」と言っていただければ大歓迎をいたしますので、お待ちしております。

どうか、我々でこの良いまちをつくってまいりたいと思いますので、ひとつ全員野球で頑張ってみます。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○秘書課長 最後に、事務局から3点お願いがございます。

1点目ですが、本日の資料とともにアンケート用紙をお配りさせていただきました。今後の参考とさせていただきますので、アンケートにご協力をいただきまして、お帰りの際に、アンケート用紙と筆記用具を、出口に回収箱を置いてありますので、そちらにお入れいただきたいと思います。

それから、2点目でございますが、市では皆さまの声を市政運営に反映するために「市民の声」という制度を設けております。市政に対してお気づきのことがありましたら「市民の声」まで意見等をお寄せください。これも資料の中にごございます。

それから、3点目でございます。先ほど市長からも申し上げましたように、市では、さまざまな機会を通じて「市民協働ガイド」を行っております。詳しくは、これもお配りしたチラシがございますので、ご覧いただきまして、会合の際には、ぜひご利用いただきたいと思います。

連絡事項は以上でございます。

それでは、これをもちまして、市長と語る市政懇談会平坂地区を閉会いたします。交通安全にご留意いただき、お気をつけてお帰りください。

本日はありがとうございました。